

平成16年(ワ)第15443号 著作権確認請求事件
口頭弁論終結日 平成16年9月8日

原告	被告	判決
同訴訟代理人弁護士		株式会社ワンダーファーム
被告		川村理
	主文	株式会社ジャパンディレクコーポレーション

1 別紙著作物目録1ないし4記載の著作物につき、原告が著作権を有することを確認する。

2 訴訟費用は被告の負担とする。

事 実 及 び 理 由

第1 請求

主文同旨

第2 原告の主張

1 当事者

(1) 原告は、映画製作等を業とする株式会社である。

(2) 被告は、映画の企画及び制作等を業とする株式会社である。

2 映画制作委託契約

原告は、被告との間で、平成15年4月17日、次の内容の映画制作委託契約を結んだ(以下「本件契約」という。)

(1) 被告は、原告に対し、別紙著作物目録1ないし4記載の著作物(以下「本件著作物」という。)の原作に基づくアニメーション映画の制作を委託する。

(2) 制作費は、8190万円(消費税込み)とし、被告は、原告に対し、これを次のとおり分割して支払う。

① 平成15年4月28日限り 500万円

② 同 年5月30日限り 2230万円

③ 同 年6月30日限り 2730万円

④ 同 年7月31日限り 2730万円

(3) 原告が本件契約に基づいて制作した著作物(本件著作物)の著作権は、被告に帰属する。

(4) 被告が本件契約上の義務に違反した場合、原告は、催告を要せず、本件契約を解除することができる。

本件契約が解除された場合、被告は、原告に対し、本件契約により取得した権利を無条件で譲渡しなければならない。

3 本件映画の製作

原告は、本件契約に基づき本件著作物を製作し、その著作権者となったが、被告は、本件契約(上記2(3))に基づき、本件著作物の著作権を取得した。

4 支払期日の経過

前記2(2)④の支払日である平成15年7月31日は経過した。

5 解除の意思表示

そこで、原告は、被告に対し、平成16年9月7日、本件訴状の公示送達をもって、本件契約を解除する旨の意思表示をした。

6 まとめ

よって、原告は、被告に対し、本件著作物につき原告が著作権を有することの確認を求める。

第3 当裁判所の判断

1 証拠(甲1~5)及び弁論の全趣旨によれば、請求原因1(当事者)、2

(映画制作委託契約)及び3(本件映画の製作)が認められる。

2 請求原因4(支払期日の経過)及び5(解除の意思表示)は、当裁判所に顕著である。

3 以上によれば、原告の請求は理由があるからこれを認容し、訴訟費用の負担につき民事訴訟法61条を適用して、主文のとおり判決する。

東京地方裁判所民事第40部

裁判長裁判官

市 川 正 巳

裁判官

杉 浦 正 樹

裁判官

高 嶋

卓

(別紙)
著作物目録